

基盤整備を契機に組織設立！ ～法人経営による集落農地の維持管理～

【類 型】 水稻 + 露地野菜

【組 織 名】 農事組合法人四万十利岡FARM
(令和2年2月12日設立)

【所 在】 高知県四万十市利岡

【農業地域類型】 山間農業地域

【構成戸数・人数】 27名

【経営規模 (令和6年度実績)】

主食用米 (ヒノヒカリ)	1.	2 ha
飼料用米 (イクヒカリ)	3.	2 ha
(夢あおば)	1.	7 ha
(とよめき)	3.	8 ha
(たちはるか)	7.	3 ha

合計17. 1ha



法人設立総会

設立の経緯

- 基盤整備事業の活用を検討する中で、平成29年にアンケート調査を行った結果、回答者の7割が集落営農の取り組みが必要、将来的に組織に農地を預けたいと回答した。その後も協議を重ね、平成30年に任意組織「利岡ファーム」を設立し、主食用米の協業栽培に取り組み始めた。
- 基盤整備事業の要件もあり、法人化を見据えた取り組みを進めていった。工事が完了する令和2年に法人化し、「(農)四万十利岡FARM」を設立。
- 1年目の経営面積は3ha、2年目以降は一気に面積拡大し、15haの経営面積となった。

取組の特徴・効果

- 令和6年の経営面積は水稻17. 1haとなっている。
- 水稻栽培が中心で飼料用米を経営の柱に置いている。
- 一気に規模が拡大したことや、オペレーターが兼業体制であったことなどから、令和4年は水稻の収量が上がらなかった。そのため、令和4年に水稻の収量増加に向けロードマップを作成し、令和5年から実践している。
- 中村地域営農協議会の共同防除部会を法人化した(同)スマートアグリ中村に参加し、ドローンによる共同防除を令和8年から実施していく予定。

【具体的な取組内容】



ロードマップ作成



ドローンの共同利用



水稲実証ほ

【主な機械・施設(令和6年時点)】

単位：円

導入	施設・機械名	規格・型番	総事業費	補助金額	地元負担額	事業名	備考
R2	トラクター	54ps・キャビン付	4,975,674	3,234,000	1,741,674	地域営農 支援事業	
	畦塗機	25～60ps対応	630,300	409,000	221,300		
	ウイングハロー	4.2m	1,040,600	676,000	364,600		
	田植機	6条植・側条施肥	2,263,998	1,471,000	792,998		
	播種機・育苗器		793,760	515,000	278,760		
R3	コンバイン	4条刈・60ps	7,307,300	4,749,000	2,558,300	地域営農 支援事業	
	乾燥機	45石×2台	3,756,080	2,447,000	1,309,080		
	籾摺機一式	5インチ	1,447,600	940,000	507,600		
	農業用倉庫	木造144㎡	11,306,086	7,073,000	4,233,086		
	育苗ハウス	自己施行					
R4	フォークリフト	1.5t	1,672,000	1,086,800	585,200	地域営農 支援事業	
	フルコンバック計量器	2t	1,391,830	904,689	487,141		
	動力噴霧機	4ch	1,051,765	83,647	968,118		
	管理機		300,080	195,052	105,028		
	畝立機		640,200	416,130	224,070		
R5	ウイングモア		290,000	0	290,000		
	合計		38,867,273	24,200,318	14,666,955		

【課題・今後の取組】

- 令和5年度に作成したロードマップ等をもとに、水稲の収量を増やすとともに、露地野菜の栽培も再開・継続し、経営の安定化を図る。
- 今後は、広域連携組織でのドローンの共同利用や法人の後継者確保に向けて取り組みを進めていく。